

SCIENCE AND ART
BELONG TO THE
WHOLE
WORLD, AND
BEFORE THEM
VANISH THE
BARRIERS OF
NATIONALITY

J.W.Goethe

ART – Necessity or Luxury? – 芸術と共に生きる

講師：植田 景子 / 宝塚歌劇団 演出家

2020年度 神戸女学院大学研究所主催講演会

配信期間：2020年10月19日（月）～10月26日（月）（WEB配信）
大学生・大学院生・教職員はMoodleで視聴ください。
一般の方はお申し込みが必要です。裏面をご確認ください。

ART – Necessity or Luxury? –

芸術と共に生きる

先進国の中でも、日本の文化芸術に対する後進性は大きな課題である。

人がいかに心豊かに生きるかが重要になるこれからの時代に、

” Art - its necessity in our lives ”という認識が、

さらに広く普及していくべきである。

ドイツのモニカ・グリュッタース文化大臣の発言を例に、日本における文化芸術の現状について、そして未来について考える。

植田 景子 KEIKO UEDA

宝塚歌劇団 演出家



奈良県出身。神戸女学院大学文学部総合文化学科卒業

1994年 宝塚歌劇団入団

1998年 宝塚歌劇団初の女性演出家としてデビュー

2000年 『～夢と孤独の果てに～ルートヴィヒ二世』で宝塚大劇場デビュー

2003年 文化庁新進芸術家海外研修制度によりロンドン、ハンブルクへ一年間の研修留学

ハンブルクバレエ団芸術監督ジョン・ノイマイヤー氏に学ぶ

2010年 自伝的エッセイ『Can you Dream?—夢を生きる—』出版

2011年 『クラシコ・イタリアーノ—最高の男の仕立て方—』文化庁芸術祭優秀賞受賞

2018年度エイボン女性年度賞芸術賞受賞

世界的な文学作品からオリジナル作品まで多彩なジャンルを手掛けつつ、一貫して高い美意識に基づく繊細な演出と、観客を物語世界に引き込むドラマティックな作品作りに定評がある。

<お問い合わせ & お申込み先>

神戸女学院大学研究所事務室 TEL:0798-51-8544 E-mail:ri-o@mail.kobe-c.ac.jp

研究所事務室宛にメールでご連絡ください。

詳細はメールにてお送りいたします。

必要事項：件名「研究所主催講演会」本文「氏名・メールアドレス」